

平成28年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「勤労」「自治」「向上」を校訓とし、知・徳・体の調和のとれた健康な心身と情操豊かな人間を育成する。

2 学校の特徴

本校は、人文国際、福祉健康、情報ビジネス、自然科学、グリーン、スポーツ科学からなる6分野（領域）を設置する総合学科として、生徒の進路や興味・関心に応じた学習ができる教育課程を構築している。生徒一人ひとりの個性を尊重し、能力を伸ばすことにより、それぞれが将来に向け自己実現できるよう教職員が指導・支援している。

- (1) 進路意識を高める学習の重視……1年次の「産業社会と人間」、2年次からの「分野別の選択科目学習」、3年次の「課題研究」などを軸に、3年間を通じてライフプランを明確にししながら、進路実現のための学習を進める。
- (2) 多様な進路希望への対応……大学進学から就職まで、多様な進路選択に対応する演習科目、資格検定を目指す実技科目など、特色ある科目を数多く設定する。また、インターンシップの実施により、社会の一員としての自覚を持たせ、職業観の醸成を図る。
- (3) 規律と秩序のある校風の確立……身なりを整え、元気に挨拶を交わすなど、生き生きとした学校生活が送れるように、生徒と全職員が一体となって規律ある校風づくりに取り組む。また、部活動の1年次全員加入制を継続するなど、生徒活動の活性化を図る。
- (4) 地域との連携……上市町の福祉施設を訪問するボランティア活動、上市町商工会や上市町社会福祉協議会との連携事業に、多くの生徒が参加できるようにする。また、「ふれあい交流活動」も継続し、地域に開かれた学校としての活動を推進する。これらの活動を通して社会的モラルを身につけ、自己有用感を高めることで、生徒の社会性や主体性を育成したい。

3 学校の現状と課題

明るく素直だが、責任をもって何かを成し遂げた経験や、自分の活動が認められた経験が少ないため、自分に自信が持てず自己肯定感の低い生徒も見られる。教員が積極的に声をかけ励ます場面を増やすとともに、生徒の良い面を引き出す教育実践が重要である。また、基礎学力が身につけていない生徒が多く、学び直しの機会を設けるなど、教科担当者の工夫が欠かせない。

1年次の英語と数学では習熟度別学習を取り入れ、理解度が高まるよう工夫している。2年次からは6分野に分かれ、興味や関心、進路希望に応じた科目選択を可能にしている。3年次には、自らの進路実現を可能にするため、選択科目をさらに絞り込み学びを深めている。また、課題研究では、テーマの設定から調査研究方法、まとめ方などを工夫し、最終的に発表することでプレゼンテーション能力の向上にもつなげている。

生徒自身が意欲をもって資格取得やボランティア活動に挑戦できるよう、積極的に情報を提供している。部活動では、全国大会や北信越大会に出場する部もあり、学習と部活動を両立し、進路目標を達成している生徒も多い。しかし一方では、生活習慣や学習習慣が確立できず、学校生活に目的を見いだせない生徒もいる。

今後は、3年間を見通したキャリア教育の充実を図るとともに、教科の指導法や評価法なども工夫し、生徒の進路意識や学習意欲が高まるような取り組みが必要である。また将来、社会の一員としてルールやマナーを守り、常識ある人間として生活できるように、生徒の成長を促す指導をすべての学校生活を通して実践したい。